要望書

国道 34 号大村諫早拡幅の整備促進を目指そう!!

国道３４号大村・諫早間整備促進期成会

国道３４号大村・諫早間整備促進期成会

会　　長	大 村 市 長	園 田　裕 史
副 会 長	諫 早 市 長	大久保 潔 重
〃	大村市議会　議長	城　幸 太 郎
〃	諫早市議会　議長	南 条　　博
〃	大村商工会議所　会頭	中 村　人 久
〃	諫早商工会議所　会頭	永 江　正 澄
監　　事	大村市タクシー協会　会長	酒 井　辰 郎
〃	㈠社)諫早観光物産コンベンション協会 会長	酒 井　明 仁
会　　員	長崎県央農業協同組合　代表理事組合長	真 壁 正二郎
〃	長崎県トラック協会　大村支部長	村 里　宏 治
〃	長崎県トラック協会　諫早支部長	山 口　　健
〃	諫早市タクシー協会　会長	永 尾　典 嗣
〃	㈠社)大村市観光コンベンション協会　会長	酒 井　辰 郎
〃	㈠社)大村市物産振興協会　会長	伊 瀬　浩 三
〃	長崎空港ビルデイング株式会社　代表取締役社長	衛 藤　　勇

寒冷の候　貴台におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より大村市・諫早市の道路行政全般に関し、格別のご高配を賜り、心から感謝いたします。

大村市・諫早市は、長崎空港や長崎自動車道インターチェンジ、現在整備中である島原道路を基盤とした高速交通の拠点都市であり、県内の交通の要衝となっております。また、西九州新幹線が昨年９月に開業し、今後も産業・交流都市として更なる飛躍を目指しております。

さて、本期成会の要望項目である、一般国道３４号大村諫早拡幅事業につきましては、今年度は道路設計及び用地買収が予定され、早期完成に向けた取り組みが着実に進められていることに厚くお礼申し上げます。

このような中、コロナ禍からの社会活動の正常化が進みつつありますが、エネルギーや食料価格の高騰等により、本市を含め地域経済に大きな影響が出ており、地域経済の回復が急務であります。

つきましては、県央地域の経済活性化・発展を推進するには、一般国道３４号大村諫早拡幅の整備が不可欠であり、整備促進に向け引き続き、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

国道３４号大村･諫早間整備促進期成会

会長　大村市長　　園　田　裕　史

要　望　事　項

一　国民の生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持するため、防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策に必要な予算・財源について、これまでのペースを緩めることなく、例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、対策期間完了後においても、昨今の地震・豪雨・豪雪などの災害の状況も踏まえた上で、切れ目無く、継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進めるため、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保することを要望いたします。

一　地域の発展や経済成長のためには、安定的・持続的な社会資本整備が不可欠であるため、公共事業費の増額とともに、地方創生推進に必要な道路関係予算の所要額の確保を要望いたします。

一　資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、令和６年度の道路予算における所要額の満額確保について要望いたします。

一　激甚化・頻発化する大規模自然災害の脅威・危機に即応するための地方整備局・事務所等の体制の充実・強化や災害対応に必要となる資機材の更なる確保について要望いたします。

一　県央地域における物流、観光及び地域経済を支え、他の地域との連携強化や交流人口拡大、社会経済活動の活性化など長崎県全体の発展に寄与する、「一般国道３４号大村諫早拡幅の整備促進」について要望いたします。

一般国道３４号大村諫早拡幅の整備促進について

本県を南北に走る主要幹線道路の一般国道３４号は、諫早市側の本野入口交差点改良事業及び大村市側の大村拡幅事業により、それぞれ４車線化され、渋滞緩和など一定の効果が現れています。

しかしながら、両事業区間を結ぶ大村市与崎から諫早市本野間の４．４ｋｍが２車線のままで、ボトルネックとなっていることから、一日３万３千台にもおよぶ交通に対応できず、通勤時間帯を中心に混雑が恒常化しており、交通事故発生時には更なる渋滞が発生するなど、社会・経済活動の支障となっています。さらには、近年全国各地で激甚化する豪雨災害の発生が問題化しており、本事業区間においても、雨水排水対策の重要性が高まっていると認識しております。

本区間は、県央生活圏における交通ネットワークの重要な路線であり、当該区間の整備により、地域間交流が益々促進され、県央地域の更なる発展に大きく貢献するものであります。

また、昨年９月に西九州新幹線が開業したことで、交通量の大幅な増加も見込まれることから、本区間の４車線化の必要性はさらに増しています。

本国道が交通・物流による地域経済の活性化にとどまらず、国土強靭化においても極めて重要な役割を担う主要幹線道路であることから、**大村諫早拡幅事業の整備促進**について、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

二本松ﾊﾞｽ停付近状況(大村市側)

花高入口交差点付近状況(諫早市側)

与崎交差点付近冠水状況（令和2年7月）

与崎交差点付近事故状況

国道３４号大村諫早拡幅　要望区間

与崎交差点～花高入口交差点間　L=4.4km　W=23.25m

大村拡幅
4車線
供用済み

本野入口
交差点改良
4車線
供用済み

自大村市久原２丁目

至諫早市下大渡野町

長崎医療センター

西九州新幹線

現道拡幅区間

バイパス区間
（一部トンネル）

現道拡幅
区間

鈴田交差点

与崎交差点

花高入口交差点

本野入口交差点

農道入口交差点

道の駅「長崎街道鈴田峠」

令和2年7月豪雨
被災状況

長崎新聞社提供

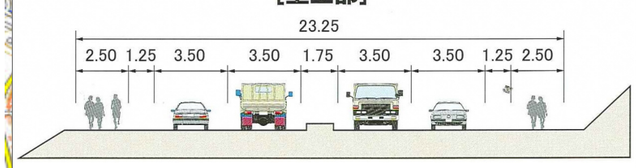
諫早市側

大村市側

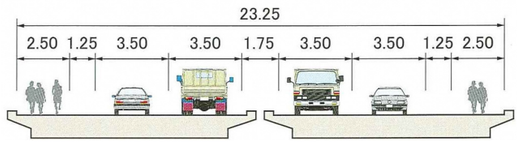
■ ■ ■ ■	国道34号大村諫早間ルート
━━━	現道部（２車線）
■ ■ ■ ■ ■	供用済み区間（４車線）

【 標準断面図 】

［土工部］

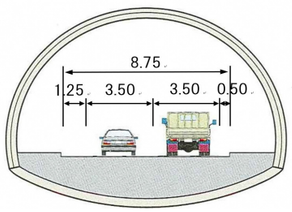


［橋梁部］

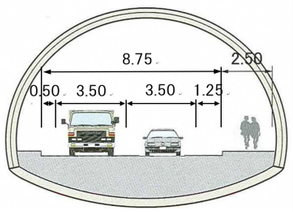


［トンネル部］

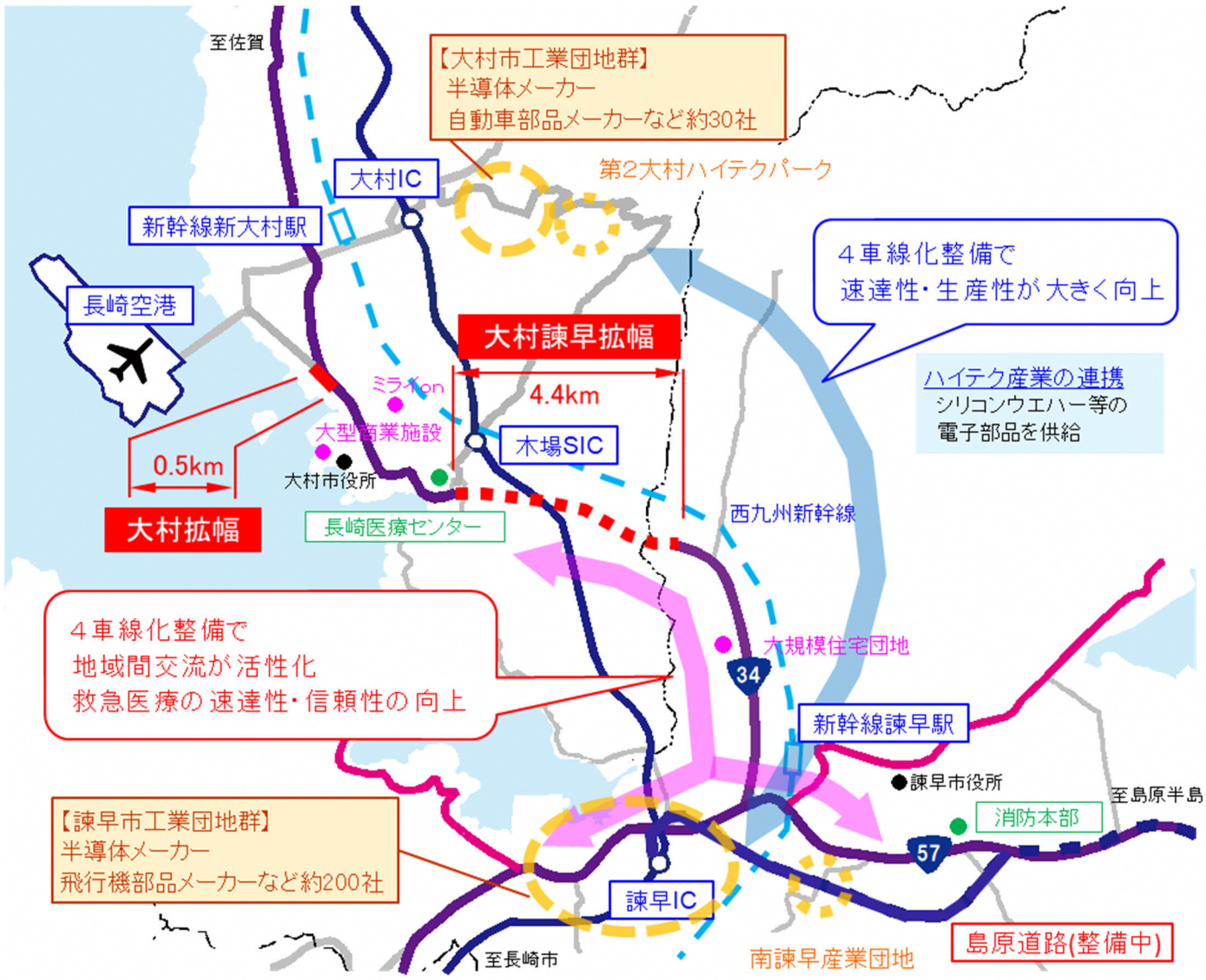
下り線



上り線

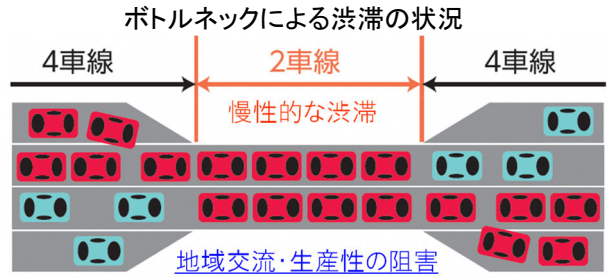


国道34号は長崎県央地域の大動脈



交通量　３．３万台/日
県内２車線区間で最多の交通量

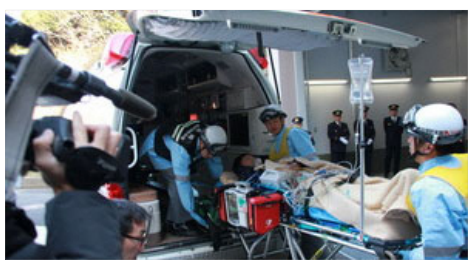
ボトルネックによる渋滞の状況



地域交流・生産性の阻害

地域ポテンシャルをさらに高めて、地域創生へ貢献

全国初ＥＭＴＡＣ（医師同乗救急車）



医療センター内の消防署機能を活かし、
高度な救命措置により救命率の向上へ

新幹線新大村駅

西九州新幹線　令和4年9月開業

新幹線諫早駅

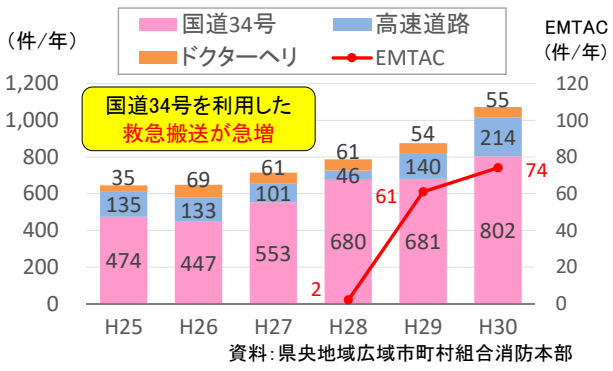
木場スマートＩＣ

平成30年3月開通

長崎空港

年間利用者数 326 万人(H30)

■諫早市から医療センターへのルート別搬送件数



資料：県央地域広域市町村組合消防本部

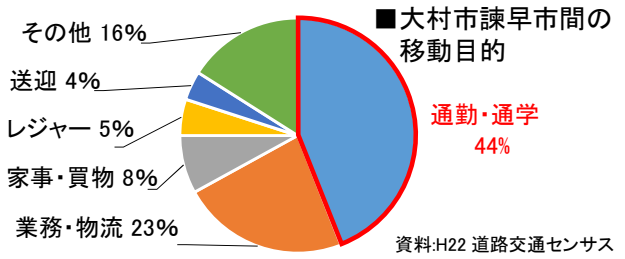
島原道路

令和4年5月開通
（長野 IC～栗面 IC）

ミライｏｎ図書館

令和元年10月開館

■大村市諫早市間の移動目的



資料:H22 道路交通センサス

大村市諫早市は生活圏が一体

＊「新幹線・高速道路・空港」高速交通ネットワークの充実
＊ ポテンシャルを高めて、定住拠点・交流人口を促進

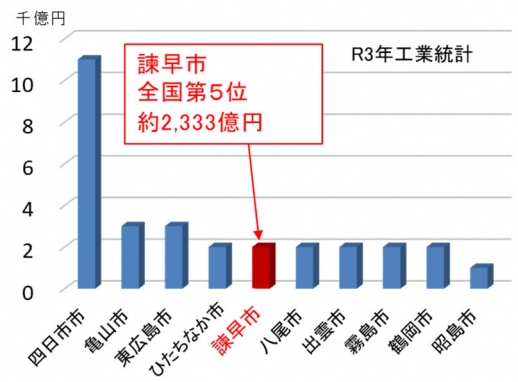
産業連携強化で地域経済活性化を図り、雇用を創出

大村市工業団地群

ハイテク産業の連携

諫早市工業団地群

■電子部品・デバイス・電子回路製造品出荷額



ハイテク産業が地域経済を牽引

第２大村ハイテクパーク

平成３１年４月分譲開始
雇用創出者数１０００人

南諫早産業団地

令和３年度分譲開始
雇用創出者数１５００人

４車線化によって速達性・生産性が大きく向上

＊ 工業団地の拡張、高まる投資に応える交通ネットワークの充実
＊ 圏域の一体性をさらに高めて生産性の向上と雇用創出の促進